

表2 島牧村立島牧中学校「総合的な学習の時間（防災）」指導計画案

1 学習活動

自分たち流島牧村防災マップづくり

2 目標

- ①防災に必要な知識及び技能を身に付け、様々な場面で生徒自らが探究的な学習を進めようとする態度を育成する。
- ②防災に関する課題を自分で立て、収集した情報を整理・分析して、まとめ・表現することができる能力を育成する。
- ③防災に対して興味・関心をもち、他者と協働的に取り組みながら、意欲的に課題を解決しようとする態度を育成する。

3 評価基準

ア：人間関係形成力	イ：情報活用能力	ウ：将来設定能力	エ：意思決定能力
異なる意見や他者の特徴を生かしながら探究活動に向き合い、互いを理解することができる。	目的に応じて必要な情報を収集し、多角的に分析することができる。	学んだことを、現在及び将来の自己の生き方につなげて考えることができる。	自分で課題を立て、よりよく課題を解決しようとする真剣に取り組むことができる。

4 4時数（10時間扱い）

過程	時間	目標	主な学習活動	教師の主な働きかけ	評価
課題の設定	1 1	①防災教育に関わる学習内容を理解する。 ②現地学習においての調査方法や体験内容を明確にして、自らの課題を設定することができる。	(1)オリエンテーション ①本学習の活動計画の把握 ②外部講師（島牧村役場）による「島牧村防災ガイドマップ」の説明 (2)課題設定 ①専門家（境智洋氏）による講義 ②各地区及び問題解決したい課題の設定	(1)本学習の見通しをもたせるとともに、探究課題が「島牧村の自然環境と、それに対する防災対策」であることを明示する。 (2)講話を場合分けして聞く方法や、資料を読み取ってまとめる方法を指導する。	エ
情報の収集	3	①地域の防災に関わる情報について、地質や設備、地域住民からの講話を通して情報を収集することができる。	(3)フィールドワーク [グループ学習] ①各地区の実際の状況を調査・収集 ②各地区住民からの講話	(3)①生徒が立てた課題を意識した調査・収集となるよう、調査方法や収集内容に対して指導する。 ②事故防止などの安全面の配慮を怠らない。	アイ
整理・分析	1	①現地学習で収集した情報を、他の情報や既存の防災ガイドマップと比較・分析しながら整理することができる。	(4)調査結果の分析 ①収集した情報と「島牧村防災ガイドマップ」の比較・分析 ②消防署（島牧支署）からの指導・助言	(4)①収集した情報の取捨選択方法を提示する。 ②自他を尊重し、力を合わせて整理・分析する態度を指導する。	アイ
まとめ・表現	3 1	①整理した情報を基に防災マップを作成し、自分の考えをまとめることができる。 ②防災に関する理解を深めたり、新たな課題を見いだしたりして、自分の成長を自覚することができる。	(5)防災マップづくり [グループ学習] ①作成 ②相互交流 ③発表準備 ④発表・講評 (1日防災学校)	(5)①互いの力を生かし合いながら、自分の考えを深められるように机間指導と助言を行う。 ②今回の学習を実社会や実生活で生かそうとする態度や、新たな課題を探究しようとする態度が養うよう、学習過程に振り返りの場面を設定する。	ウ



図1 QRコードから撮影した動画を見られるように工夫した防災マップ

2021 (令和3年)

令和2年度 北海道実践的安全教育モデル構築事業 島牧村実践委員会 作成

図2 村内施設に掲示した防災マップ掲載のカレンダー